

# 令和4年度地域活動支援事業 事例集

## 17 浦川原区

浦川原区総合事務所

# 浦川原区

No.01

## 第13回浦川原和太鼓祭

文化・スポーツの振興

NPO法人 保倉川太鼓

### 事業概要

日本古来の和太鼓の伝統文化と和の心を浦川原から発信し、「人と地域が元気なまち」にするため、「浦川原和太鼓祭」を開催した。

### 事業評価・今後の活動の見通し

集客目標500人を大きく上回る来場者となり、予想以上の成果が得られた。

また、観客から高評価の声が多く寄せられ、地域住民の元気創出につながった。

さらに、今回初めて浅間温泉火焰太鼓が出演したことにより、県外の他地域との交流拡大が図られた。



事業費 801,330 円

補助金額 670,000 円

No.02

## 虫川の観光資源を活用した観光PR事業

観光振興

大字虫川自治会

### 事業概要

虫川の地域資源・観光資源の整備を通じて地域の活性化を図るとともに、観光客の満足度を高めることを目的に、案内標柱の設置や観光案内などのPR活動を行った。

### 事業評価・今後の活動の見通し

事前に町内会会員に周知し、取組の必要性を理解してもらうことにより、多くのボランティアの参加が得られた。また、事業実施により、町内会役員を中心に地域住民の交流が生まれた。さらに、案内標柱の設置により、観光客の満足度が高まったほか、交流人口の拡大につながった。



事業費 333,300 円

補助金額 333,000 円

No.03

## うらがわら雪あかりフェスタ

観光振興

うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会

### 事業概要

区内の交流と区外からの誘客を進め、雪と親しみながら地域活力の向上を図るため、うらがわら雪あかりフェスタを開催した。

### 事業評価・今後の活動の見通し

多くの町内会や事業所などから参加いただき、区内の各所で住民が協力し合い、ろうそくの設置や雪像づくりを楽しむ姿が見られ、地域の活性化に貢献した。また、夜間も多くの来場者が訪れ、浦川原区の魅力を区外の方に知っていただく機会となった。

冬季の一大イベントとして継続するため、今後、未参加の町内会に参加を呼びかけるとともに、協賛企業やボランティアの募集に力を注いでいきたい。



事業費 165,000 円

補助金額 165,000 円

## No.04

## 広報紙「夢だより」周知推進事業

まちづくりの推進

NPO法人 夢あふれるまち浦川原

### 事業概要

毎月発行している夢だよりについて、カラー刷りで発行した際には特に好評を博したことから、今年度はカラー版で発行し、法人の事業展開等について周知した。

### 事業評価・今後の活動の見通し

毎月、カラー印刷による広報紙を発行し、当法人の活動内容の報告や事業・イベントの参加募集などの記事を掲載したことにより、多くの参加申し込みがあり、高評価につながった。

今後も印刷費用を工面し、より多くの地域の皆さんから当法人の活動に関心を持っていただき、理解をいただけるよう掲載内容の充実を図り、毎月の発行を継続していきたい。



事業費 266,200 円

補助金額 130,000 円

## No.05

## 「和山・観音堂」トレッキングコース整備促進事業

観光振興

NPO法人 夢あふれるまち浦川原

### 事業概要

トレッキングコースに丸太階段を設置することで安全対策と事故防止を図るほか、県指定文化財「木造十一面観音立像」のPRを含めた利用促進を図り、観光交流を推進した。

### 事業評価・今後の活動の見通し

トレッキングコースの急斜面(難所)3か所に100段の階段を設置し、安全対策、事故防止を図ることにより、さらに多くの利用が容易になった。2種類のパンフレットの作成により、「十一面観音立像」の周知やコース利用者の増加につながった。

今後は、春の雪消え後の倒木処理、夏・秋(年2回)の草刈りなどを行い、トレッキングコースの安全、維持管理のための整備作業を行ってきたい。



事業費 902,702 円

補助金額 854,000 円

## No.06

## 宿泊体験交流施設月影の郷イベント事業

子どもの健全育成

月影の郷運営委員会

### 事業概要

上越市の山間部で自然に囲まれた環境豊かな「学校空間」を活用し、創造力や思考力を養い、好奇心が芽生える機会を提供し、地域とともに歩む学校づくりの一助とするため、クラフト・スクエアin森の学校を開催した。

地域の活性化に取り組んでいる業界有志や教育現場で学ぶ学生、少年サッカークラブの保護者が運営をサポートし、地域と協働で取り組んだ結果、将来を担う子供たちの健全育成につながった。

### 事業評価・今後の活動の見通し

「親子で考えながら遊ぶ体験」や「身体を使う遊び」を通じて、創造力や思考力を養い、好奇心が芽生える機会を提供し、地域とともに歩む学校づくりの一助となった。

月影の郷は、閉校後の学校空間を効果的に活用している施設として、18年間の実績がある。今後も、地域住民や上越教育大学の学生等の協力を得ながら、親子で野外活動や交流体験などが楽しめるイベントの企画・運営を継続していきたい。



事業費 3,235,119 円

補助金額 2,295,000 円